

対距離課金：ほとんどの人の総支払い額は少なくなるだろう

掲載日	2009年11月14日
国名	オランダ
分類	料金
出典	Ministry of Transport, Public Works and Water Management, (HP News)
タイトル	Kilometre charge: Most people will end up paying less

数年後に、すべての道路ユーザーは車の保有に対してではなく、車の利用に対して税金を支払うことになるだろう。対距離課金は渋滞を半分にし、環境保全に資するだろう。どのように機能し、どれくらい費用がかかるかは **Eurlings** 大臣が提案し、内閣により本日下午に提出された対距離課金法案に記載されている。

#### 使用に対して支払う

道路税と購入税は廃止される。これらはオランダで走行した総距離（自動車道から住居地区の道路まで含む）に応じた課金に置き換えられる。対距離課金で得られる収益は以前の税体系の総収益を超えない。結果として、運転手の大半は新たなシステムから利益を得る。対距離課金からの収益はインフラ基金に入金される。この基金は道路建設、鉄道、他のインフラに用いられる。

#### 渋滞が減り、環境が改善される

運転者は、運転に距離に敏感になるほど、より排出ガスを減らし、支払い額も減少する。研究者は、総走行距離がだいたい15%減少し、渋滞回数が半分になるとしている。加えて、道路上の死者数も7%減少すると期待されている。道路利用者は代替交通手段を利用し始め、結果として公共交通の利用が6%増えるだろう。環境も対距離課金により利益を得る。二酸化炭素と細粒排出物は10%以上減るだろう。加えて、購入税（価格の25%）の廃止により自動車も安くなる。このシステムによる利益は年間10億ユーロに達するだろう。

#### 排気ガスを減らすほど移動にかかる税金も安くなる

基本税は距離に対して支払う。同様に、課税率は車のカテゴリーにもかわり、乗用車、私用/商用バン、バスや重量車により異なる。排出するガス量により課税率が異なる。他の車種では車重により課税率が決定される。重量は二酸化炭素排出量と密接に関わっている。次の上方調整が2018年まで乗用車の平均課税率に加えられる。

2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
3, 0	3, 5	4, 0	4, 6	5, 3	6, 1	6, 7

この基本課税に加え、法律は渋滞時の追加料金も課すことを許している。これは道路網の構造的ボトルネックや潜在的な近道部分に適用される。下院の法律が渋滞課金がどの地区で適用されるかを決定する。

同様に身体障害者車両、農業トラクター、速度制限車両、タクシー、1987年以前の車両や公共バス、バイクは引き続き課税が免除される。他国車両へは代替支払いシステムが準備される。

#### 追加の建設への手段

内閣は移動性を確保することが、経済成長の要件であり、人々が成長し休憩する機会を与える確立された権利であると見なしている。

1960年代から、自動車による移動距離は10倍になっている。移動性は2020年までにさらに40%増加すると見られている。道路上の自由な交通流を保つため、対距離課金を導入し、社会資産を発展させる必要がある。結果として、道路利用者は自動車の利用の仕方により慎重になり、これが道路のアクセスしやすさを改善することにもつながる。

#### プライバシーは確保される

GPS装置がすべての自動車に設置され、移動距離や移動に要した時間、旅行回数が記憶される。GPS装置はこの情報を集積施設へ転送し、この施設で請求書が作成される。やがて、運転手はこのGPS装置により付属のサービス（ルートナビなど）を紹介されることになろう。このGPS装置を通じて送られる情報は法的・技術的に保護される。運転手だけがこの情報にアクセスできる。官庁は細部の移動情報にはアクセスできず、どの自動車の追跡を行うこともできない。よって道路ユーザーのプライバシーは保障される。

#### 導入に要する時間が課題である。

対距離課金の導入とともに、9百万人弱の道路ユーザーが新しいシステムへの変更により影響を受ける。導入に要する時間が課題である。技術や価格設定を試す試験運用はすでに実施され、成功している。当内閣の熱意が法的手続きや技術的試験を完了させた。大臣や下院は対距離課金制が徐々に実行されるよう、今後明確な意思決定時期を設定する。